

1 第1回推進会議の概要

(1)記念事業 取組方向

①趣旨

・先人が築き上げてきた150年の歩みや地域の魅力を再発見、再認識することにより、県民の郷土愛や誇り(シビックプライド)を醸成し、三重の宝・次代を担う子どもたちへつないでいくことで、より多様な魅力あふれる「美し国 みえ」の未来を創造する。

②150周年記念事業の考え方

- ・三重県誕生150周年記念の趣旨をふまえた事業
- ・子どもたちを中心に、県民の皆さんが参加、利用が可能な事業
- ・新規性を伴う(一部新を含む)事業

(2)知事指示事項

- ・バラエティーに富んだ三重の魅力をアピールできる取組を検討すること。
- ・150年を一つの佳節としながら、これから先につなげる取組が大事。主役となる子どもたちを意識した取組を検討すること。
- ・三重県誕生150周年など子どもたちに分かりやすいキャッチフレーズを検討すること。

2 三重県誕生150周年記念事業 取組骨子(案)の検討

(1)取組骨子(案)の検討

第1回推進会議及び知事指示事項をもとに、コンセプト、キーワードなど取組骨子を検討。

- 150周年を迎えるにあたりフォーカスすべき「三重の歩み・魅力」を抽出。
- 子どもたちに「三重の歩み・魅力」をどのように受け継ぎ、未来へつないでいくかを検討。
- 「県政150周年」を「三重県誕生150周年」に改正。

(2)各部局の検討

- ・第1回推進会議をふまえ、各部局において取組案を検討。
- ・各部局からは右記のような取組の提案あり。



一例

- ・自然公園、熊野古道、花とみどりの魅力を体験するツアー・イベント
- ・三重のお菓子・ブランド食材、郷土料理を楽しむイベント
- ・三重の祭り体験、企画展・特集展示(博物館・美術館)
- ・ふるさと教育、偉人・先人の紹介・研究、地域の観光地巡り
- ・みえの職業体験、みえの企業訪問・施設見学 など

3 三重県誕生150周年記念事業の取組骨子(案)

コンセプト

三重県の未来を創造し、次の50年へ

キーワード

主役は子どもたち

三重の歩み・魅力

自然

「美し国」と表現された風光明媚な自然

食

古くから地域色豊かに発展してきた「食」

文化・歴史

4つの令制国のもと育まれた
多様な文化・歴史

人・地域

先人が守り、発展させてきた
郷土・地域

産業

伝統と革新が織りなす県内産業

タイプ 1

子どもたちが
三重の歩み・魅力を

「知る」

「楽しむ」

「学ぶ」



タイプ 2

子どもたちが
三重の未来を

「考える」

「描く」

「語る」



第2回 三重県誕生150周年記念事業推進会議

4 今後のスケジュール

9月10日	第2回 三重県誕生150周年記念事業推進会議
10~1月	記念事業の検討、予算要求等
2月頃	第3回 推進会議(R7年度記念事業に関する情報共有)

令和7年度 令和8年度

時期	令和7年 4~12月	令和8年 1~3月	令和8年 4~6月	令和8年 7~9月	令和8年 10~12月
目玉 イベント	三重県誕生 150周年 PR	【第1弾】 オープニング プログラム	【第2弾】 記念式典 コアプログラム	【第3弾】 夏休み プログラム	【第4弾】 エンディング プログラム
各部局 実施事業	県民の日 (R7.4.18)を 皮切りに様々 なコンテンツ を活用したPR の開始	<p style="text-align: center;">記念事業期間</p>			
連携事業	<p style="text-align: center;">三重の自然、食、文化・歴史、人・地域、産業など多様な魅力を</p> <p style="text-align: center;">タイプ① 子どもたちが「知る」、「楽しむ」、「学ぶ」ことができる事業や</p> <p style="text-align: center;">タイプ② <u>三重県の未来を「考える」、「描く」、「語る」機会を創出できる事業を展開</u></p> <p style="text-align: center;">■市町や協力企業・団体と連携した取組(コラボイベントの開催、コラボ商品の販売等)</p> <p style="text-align: center;"><u>R6.9から市町・企業との連携に向けた検討・調整をスタート</u></p>				